



キーパー号がヨーロッパを走る!



アイ・タック技研(株) 畠中修が語る「ドイツ シロッコRカップ参戦記」



アイ・タック技研(株)キーパーラボ運営本部の畠中です。今年はフォルクスワーゲン「ゴルフカップ」に出場しました!今年のレース戦績は、第1戦(岡山)で優勝。第2戦(筑波)で4位。第3戦(富士)で2位。第4戦(菅生)で2位。シリーズ2位となりました。このたび優秀選手として、ドイツのフォルクスワーゲンモータースポーツから、「ドイツ シロッコRカップ」に招待選手としてレースに招待していただきました。モータースポーツを21歳ではじめ、はや15年。さまざまなレースカーに乗り、さまざまなサーキットを走りました。モータースポーツを通じてたくさんの経験をさせてもらいました。そしてそれは私の人生に役立っていると確信しています。

■「初めて」づくし

今回初めて「海外」でのレースを経験。初めての「左ハンドル」でのレース、初めての「天然ガス」のレースカー、初めて乗るフォルクスワーゲン「シロッコR」、そしてF-1でも有名なドイツ「ホッケンハイムリンク」というサーキット。「初めて」づくしだ。シロッコRは徹底的に軽量化されており、スリックタイヤを装着している。天然ガス車だがガソリン車との違いは、全く分からない。ターボ車特有の野太いエンジン音だ。ハンドルについている赤いボタンは「プッシュ to パス」というもの。このボタンを押すと通常の240馬力から10秒だけ50馬力がアップ。10秒間、合計290馬力のモンスターに変わる。車重1200kg、パワーウェイトレシオが良い、完全なレースカーなのだ。このボタンは1レース15回のみ使用、この15回を有効に使ってタイムを出し、勝負の時に抜かしたり、抜かされないようにする。実にややこしい。ただでさえ初めてづくしなのに…。

■DTMの前座レースに参戦

世界中で結構有名なDTM(ドイツツーリングカー選手権)の前座レース。ホッケンハイムリンクは、ハイスピードコーナーばかり。2速以下はスタート以外では使わない。最低でも3速。ストレートでは6速まで入る。5速コーナーで進入するコーナーも2つあり、超「気合いと根性」が必要なコースだ。

■たった1回の練習走行

「たった1回」の練習走行。しかもたった30分しかない。コースインして1つ目のコーナーでスピン。これは手ごわい車だ。気を取り直して練習開始。すると2週目にホームストレートのサインボードに「HATAKENAKA」「P」のサインが。次週ピットインしたらメカさん不思議顔。あっ、こっちのピットインの合図は「BOX」だ!「P」はポジションを示すそうだ。貴重な練習時間を3分損してしまった!本番レース結果は惨敗。29台中27位。なんとか最下位は逃れたがトップと5秒差。スピンも3回してしまった。想像以上にクイックな動きをする車だ。

■さすがモータースポーツの本場

さすが本場、コースの外(芝生のようになっているところ)まで使って走る!とにかく激しい、速い!このシロッコRカップはプロレーサーの登竜門になっているので、若者も多く参加している。勝利者には得られるものが大きいから、みんなムチャをする。1番苦手だったコーナーは1コーナー。進入スピードを落とさずチャレンジしたが5速全開で「大スピン」をかましてしまった。

■ゲストドライバーに大物が

なんと元F-1ドライバーのジョニー・ハーバートもゲストドライバーとして参加!彼は元ロータスやベネトンに乗り、F-1で優勝しているすごいドライバー。昔日本でF3000などのレース参戦していた経験から、日本人の私にとってもよくしてくれ、練習走行や予選後、決勝の前などにアドバイスをしてくれた。ジョニーは予選でシーズン参戦している若者をはねのけ、ポールポジションをとり、決勝では2位に入賞。元ラリードライバーのユハ・カンクネンもこのレースにゲストとして参戦していた。



すごい人たちと戦うのだ…。

■さあ、予選

予選は予報通り「雨」。初めて乗る車で「雨」はこれまた緊張する。特にこの車はホイールベースが短いのでとにかくスピンしやすい。30分の予選中15分後くらいか。途中「怖い」1コーナーで誰かが大クラッシュ。赤旗が出て中断。ここまでは「プッシュtoパス」はまだ使っていない。予定通りだ。車と雨に慣れてきた。ここから5週キッチリ使ってタイムをだそう。雨なので毎週ラップタイムが上がる。最後の5分ぐらいで1度クールダウン。最後の1周に4回の「プッシュtoパス」を残して絶対にタイムを出す。ところがその最後の1周に入る前の最終コーナー手前でスピンしてしまった。気が緩んでいた。グラベルを超えてスポンジバリアまで止まらない。アチャ〜。スタックして予選終わり。予選結果は29台中26位。最後の1周アタックできていたらもう5位ぐらいは…。完全なる言い訳である。

■雨の決勝

夕方17時から始まる決勝。雨は止みそうにない。プリーフィングでとにかく気を付けるように念が押される。シロッコRの前に行われた前座レースでは激しいクラッシュが何回も。さすがにあのクラッシュは怖い。スタートグリッドに立って緊張が最高峰!これがあるからレースは止められない。



雨の走り、レースの面白さを改めて知った。

■電気系マシントラブル

いよいよスタート!1速。2速。3速。3速?3速??シフトアップしないあつという間に後続車に抜かれる。2速でレブリミットに当たったまま。成すすべ無し。何をやってもシフトアップしない。仕方なく1周2速で走ってピットイン。エンジンを切ってもう1度リセットしたら直った。ここまできたら楽しむしかないピットアウトしたら1周遅れで軍団の中に入。雨の走り。みんなスゴイ!それでも14周でなんとか同1周回の3台を抜いたりザルト24位。(最後尾まで落ちて3台抜いて2台クラッシュでリタイヤ)。スタートのギアさえ…。ラップタイム的には…。これもレース。これがレースだ。来て良かった。怖かった。楽しかった。

■SONAXはヨーロッパで有名

我がダイヤモンドキーパーを共同で開発生産してくれているSONAXはヨーロッパではとても有名な企業。F-1にスポンサーをしており、このサーキットでもたくさんの車がSONAXのステッカーを貼っている。またSONAXが冠スポンサーをしているセアト レオンのレースも開催されていた。



SONAXのロゴが全車両に付いている。SONAXはスゴイ。

■自動車メーカーがイベントを開催

日本でいう「モーターショー」と「レース」が同時開催されているという感じを受けた。圧倒的なお客さんの入場者数があり、みんながモータースポーツをこよなく愛している。ヨーロッパの自動車メーカーが自分たちのブランドを維持向上させるために、モータースポーツはとても有効なのだということを感じた。日本もこのようにモータースポーツ文化が広がることを願いたい。



リアサイドガラスにある「15」の数字があつて「プッシュ to パス」を使える残数。



たくさんの方に支えられ、貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございます!

3ヶ月に1度のピュアキーパーが、あなたに感動をお届けします!

マンガ版パンフレット 第2弾!!

ピュアキーパー 感動物語

みんなのカーライフをもっと豊かに!

「ピュアキーパー感動物語」制作中!!

「クリスタルキーパーはじめて物語」に続き、マンガ版ピュアキーパーパンフレット「ピュアキーパー感動物語」をただ今制作中です。長くキレイに車に乗り続けたい人、こまめに車をキレイにしたい人は必見!3ヶ月に1度の施工で、幅広い世代の方に気軽に、愛車のキレイを提供できるピュアキーパーの魅力をもっと分かりやすく解説します!ご期待ください!

クリスタルキーパーマンガ版パンフレット「クリスタルキーパーはじめて物語」も配布中です!

ヒロインは、軽自動車を購入したばかりの主婦「アイコさん」。1年に1回、ノーメンテナンスのクリスタルキーパーではじまるカーライフが描かれています!